冬の緑地たんけん　（清田小学校３年生総合学習）　2月 26 日（金）

清田緑地を歩いて四季の自然を探検する、清田小 3 年生の総合学習です。初夏、秋に続いて 2 月にはスノーシューで雪の緑地を探検します。

校庭でスノーシューをはいて、学校を出発。徒歩数分の清田緑地を目指しました。雪が積もった森は、明るくて奥の方まで見渡せます。「あんなところに大きな鳥の巣が！」「夏にはここを通ると、カラスが騒いでいたね。」木の幹に空いた丸い穴にも注目！キツツキの仲間の**アカゲラ**が子育てした穴です。もう使っていないから、指を入れてみよう。意外と奥が深いね。

別の木に見つけた縦長の穴は、日本で一番大きいキツツキの**クマゲラ**が、餌になるアリを食べるために、せっせと掘った穴です。坂道を上り下りして、ちょっと疲れたけれど、楽しい時間になったかな？

平岡公園ツリーウオッチング　　2月 17 日（水）　（参加者　17名）

冬のツリーウォッチングは、平岡公園管理事務所の前に集合、スノーシューをはいて公園東側の森の中を歩きます。この日は時々強く降る雪の中を、春を待つ森の様子を見ようと多数の参加者が集まりました。

スノーシューは初めてという方も、歩いてみると思ったより軽くて、深い雪でも沈まないので安心です。森の中では、風が当たらないので寒さをあまり感じません。雪の固さもちょうど良くて、スピードが上がります。木立を見上げると、黄色い実を付けた**ヤドリギ**がいくつも並んでいてボンボリのようです。**ヤドリギ**は常緑で、西洋では縁起が良いとされているとのこと。**ヤドリギ**を見ていたら、手前に大きな**スズメバチ**の巣があってビックリ。今はシーンとしていますが、夏にはさぞかし、たくさんの**スズメバチ**が巣を出入りしていたことでしょうね。セミの抜け殻がいくつも付いているのは、**シラカバ**や**ウダイカンバ**の幹です。白っぽい樹皮の木に多いようですが、理由があるのかな？びっしりと固いキノコが生えて、鱗におおわれたように見える枯れた木もありました。

稜線の向こう側に進むと、新しい**クマゲラ**の食痕が目に入りました。数年前の食痕がある場所に近い**カラマツ**林です。「また来ているんだね！」ちょっとドキドキしてしまいました。

あちこち寄り道しながら山を下りると、広場の中央の**メタセコイア**の木に数羽の小鳥の姿が見えました。太めのシルエットは、**シメ**の群れです。「この冬は野鳥の数が少ないね」との話があったばかりなので、皆な熱心に双眼鏡をのぞきこみました。**オオカメノキ**の花芽が今年は多いようです。白い花の咲く春を楽しみに、森を後にしました。

≪森で見つけた≫